ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

シートNO.

ボーリング名	BL-1(4.5k+80m 川表)	調査位置							北　緯	36 ° 17 ' 41.0000 "
発 注 機 関	栃木県栃木土木事務所			調査期間	2009-09-24 ～ 2009-09-25				東　経	139 ° 46 ' 09.0000 "
調査業者名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者			ボーリング責任者	
孔 口 標 高	21.69 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 30.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具
総 掘 進 長	13.45 m								エンジン		ポ ン プ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	20.99	0.70	0.70		盛土(砂礫) (BS)	灰褐			φ20～40mm程度の円～亜円礫主体 礫間は細砂と粘土にて充填
1 2	18.79	2.20	2.90		盛土(礫混り粘土) (BS)	暗灰		中位	粘性やや小さい，含水少ない φ30～50mm程度の円～亜円礫を不規則に混入 GL-1.30～1.65mの間，礫を多く混入 GL-1.65～1.80mの間，玉石を多く混入
3	18.09	0.70	3.60		礫混り粗砂 (CS-G)	灰褐	中ぐらい		粒径不均一な粗砂主体 φ10～20mm程度の円礫混入 GL-3.00mまでは細砂を多く混入
4 5 6 7 8 9	12.34	5.75	9.35		砂礫 (GS)	暗灰	緩い		φ10～30mm程度の円～亜円礫主体 礫間は粗砂およびシルトにて充填 部分的に砂分，シルトが優勢となる GL-4.35～5.10mの間，有機質シルト混入 GL-6.50m以深，シルト混入 GL-9.00m以深，淡緑灰色を呈す 全体に孔壁の崩壊がみられる
	11.69	0.65	10.00		シルト (M)	暗灰			粘性中位，含水中位 シーム状に細砂を挟む
10	11.19	0.50	10.50		細砂 (FS)	暗青灰	中ぐらい		粒径やや不均一 少量のシルト混入
11 12	8.79	2.40	12.90		シルト (M)	淡緑灰		非常に硬い	粘性小さい，含水少ない GL-11.40～11.55mの間，細砂をブロック状に挟む GL-12.40m以深，砂分を多く混入
13	8.24	0.55	13.45		細砂 (FS)	暗青灰	中ぐらい		粒径不均一な細砂，下部に従い粒径が大きくなる

地層岩体区分

孔内水位(m)／測定月日：09/24 3.92

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1 / 9	3 / 11	3	7 / 30	7
1.45					
2.15	1	2	1	4 / 30	4
2.45					
3.15	5	5	5	15 / 30	15
3.45					
4.15	3	3	1	7 / 30	7
4.45					
5.15	10	10	8	28 / 30	28
5.45					
6.15	12	11	10	33 / 30	33
6.45					
7.15	9	8	9	26 / 30	26
7.45					
8.15	11	10	13	34 / 30	34
8.45					
9.15	12	12	7	31 / 30	31
9.45					
10.15	6	9	8	23 / 30	23
10.45					
11.15	6	5	6	17 / 30	17
11.45					
12.15	3	4	6	13 / 30	13
12.45					
13.15	3	7	16	26 / 30	26
13.45					

N値 0 10 20 30 40 50

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
6.50	透水試験 0.00E+00
7.00	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
1.15	1-1	⊖
2.00	1-2	
2.80		
3.15	1-3	⊖
3.45		
4.15	1-4	⊖
4.45		
7.15	1-5	⊖
7.45		
9.35	1-6	⊖
9.45		
10.15	1-7	⊖
10.45		
12.15	1-8	⊖
12.45		
13.15	1-9	⊖
13.45		

室内試験

掘進月日：09/24　09/25